

第44回優秀技術者表彰の受賞

岡山県農林水産部畜産課

1 優秀技術者表彰

第44回優秀技術者表彰を、岡山県農林水産総合センター 畜産研究所の白石誠専門研究員が受賞されました。

優秀技術者表彰は畜産技術者の技術向上を促し、畜産技術の発達普及に資することを目的として、社団法人畜産技術協会と財団法人日本中央競馬会弘済会の共催により行われているものです。本表彰は畜産技術の研究・開発または優秀技術の普及・指導の上で顕著な功績を上げた将来性に富む中堅技術者が対象で、毎年全国で10名が表彰されています。

岡山県では平成11年度の第34回以来の受賞となりました。

2 受賞者・受賞内容

白石専門研究員は岡山県総合畜産センター（現、岡山県農林水産総合センター畜産研究所）及び家畜保健衛生所において、環境保全に関する研究・指導を一貫して続け、研究者としてはもとより地域での指導者として活躍してきました。

今回、次の業績が評価され、受賞されました。



<表彰式：平成22年6月22日 全国家電会館>

1. 地域で発生する家庭生ゴミと家畜ふん尿との同時処理体系の開発

畜産研究所で実証展示しているメタン発酵施設において、家畜ふん尿だけではメタン発生量が少なかったため、家畜ふん尿と生ゴミとの混合処理を提案し、適正な投入量を明らかにしました。

また、生ゴミと家畜ふんを混合してたい肥化する場合に発生する悪臭などの問題点を明らかにし、地域で発生する生ゴミのたい肥化に活用される技術を開発しました。

2. 家畜ふんのたい肥化処理における悪臭や温室効果ガス等の環境負荷ガス低減技術の開発

家畜ふんのたい肥化時に戻したい肥の利用により悪臭の発生を低減させるとともに、水分調整時に含水率を低めに設定することでメタン、亜酸化窒素などの温室効果ガスの発生を削減できることを解明しました。

3. 家畜尿汚水の液肥化ならびに飼料イネへの利用技術の開発

家畜尿を有効に活用するため悪臭を低減させる液肥化技術と飼料イネへの追肥利用を検討し、牛尿の利用拡大に道を開きました。

4. 地域におけるふん尿処理技術の指導

地域の行政組織や岡山県畜産協会が実施する指導事業において、アドバイザーやコンサルタントとして、現地で技術指導に当たり、畜産環境保全関係の各種事業推進に大きく貢献してきました。